

環境経営レポート

対象期間: 2022年9月1日～2023年8月31日
発行日 : 2023年10月19日

1. 組織の概要	P.2
2. 対象範囲	P.2
3. 環境経営方針	P.3
4. 環境経営目標	P.4
5. 環境経営計画	P.5
6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容	P.5
7 実施体制	P.6
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績及び環境経営の実績・ 取組結果とその評価	P.7
9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P.8
10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P.8
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P.9

2023年11月16日改定

ランチパッドテクノロジー & パートナー株式会社

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

ランチパッドテクノロジー&パートナー株式会社
代表取締役 須田 美穂

(2) 所在地

認証・登録範囲: 本社・営業所 神奈川県相模原市中央区中央3-12-3 商工会館内

(3) 環境管理の責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理の責任者 代表取締役 須田 美穂
担当者 制作部1係 青柳 雄大
連絡先 電話 042-707-0893
FAX 042-707-0894
e-mail info@launch-pad.co.jp

(4) 事業の概要

ホームページ制作・運用、およびITに関するコンサルティング、PCスクール 等

(5) 事業規模

売上高: 10000万円(令和4年度)

従業員数(人) 11

延床面積(m²) 36平方メートル

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

本社・営業所(所在地は1.(2)に記載)

(2) 認証・登録対象活動

ホームページ制作・運用、ITコンサルティング、PCスクール

3. 環境経営方針

基本理念

当社は、地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識して環境経営に取り組み、業活動のあらゆる面で環境保全に配慮した行動をすることにより、低炭素社会の実現と生物多様性の保全を目指すとともに、次世代への継承に貢献します。

環境経営方針

1. 環境経営システムを効果的に運用して環境保全の向上に努め、システムの継続的改善を図ります。
2. 環境関連法規、条例等を遵守し、環境汚染の未然防止に努めるとともに、次の活動に取り組み、環境負荷の低減に努めます。
 - (1) 電気、ガス等の使用量を削減し、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物の分別を徹底し、削減とリサイクルによる資源化を推進します。
 - (3) 適正使用による節水を推進します。
 - (4) 自らが提供する事業のサービスの改善を実施していきます。
3. 地域社会とコミュニケーションを図り、地域社会の生活環境保全に努めます。
4. この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境教育を実施して、環境保全意識の向上に努めます。

2023年 11月 16日改定

ランチパッドテクノロジー&パートナー株式会社

代表取締役 須田 美穂

4. 環境経営目標

下記項目は環境目標値は設定せず、削減努力項目とする

①電力使用量

- ・電力使用量はビル管理者が一括して管理しているため、当社単独では把握していない。
電力使用量を削減するための活動を実施します。

②総排水量（水使用量）

- ・入居ビル管理者が上水道の使用量を一括管理しているため当社単独では把握していない。
水使用量を削減するための活動を実施します。

③化学物質・化石燃料は未使用の為、環境目標設定はしていない。

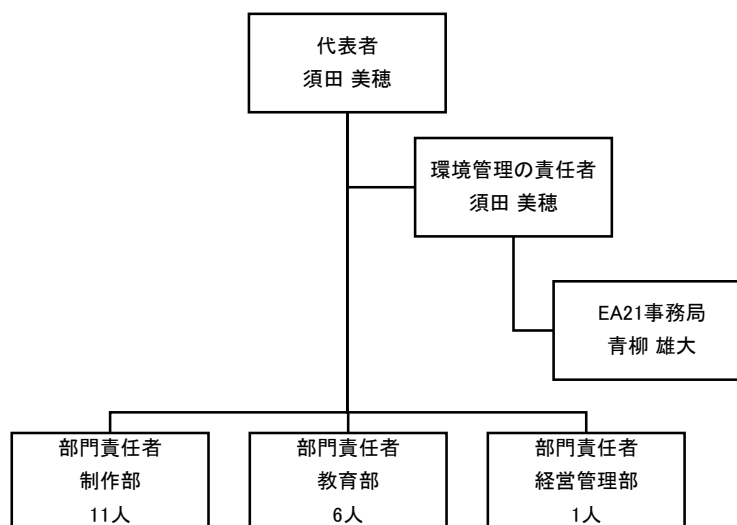
環境経営目標	2022年度		中期目標	
	目標	実績	2023年度	2024年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	削減努力	削減努力	削減努力	削減努力
1-1. 電力使用量の削減	節電	節電	節電	節電
2. 廃棄物排出量の削減	(一廃) 45L袋 48枚	(一廃) 45L袋 12枚	(一廃) 45L袋 48枚	(一廃) 45L袋 48枚
3. 水使用量の削減	節水	節水	節水	節水
4. 自らが提供する事業のサービスの改善				
4.1 時間あたりの売上	3,300 円/時間	3,361 円/時間	3,400 円/時間	3,500 円/時間
4.2 受託した業務の見積時間と実績の比率	100 %	100 %	100 %	100 %

※二酸化炭素排出係数は相模原市商工会議所にて管理しているため計測不能

5. 環境経営計画 6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制を含む)

環境経営計画	環境経営計画に基づき実施した取組内容
1. CO2排出量の削減	主なCO2排出量である電力使用量を削減努力
①電力使用量の削減 ・PCの電源ON/OFF ・エアコンの温度管理 ・定時退社日の設定	・不要な時にはPCの電源をOFFにする ・夏季:28℃、冬季:21℃を目途とした ・月間2日間の定時退社を実行
2. 廃棄物排出量の削減 ・廃棄物分別の徹底	・分別手順の整備による混廃排出量の削減
3. 水使用量の削減 ・生活用水の節水意識の高揚	・手洗い場、トイレなどに「節水」シールを貼付した
4. 自らが提供する事業のサービスの改善	
① 時間あたり売上 ・時間単価の見直し ・会議時間の削減	・時間単価を上げることで売上を改善した ・不要不急の会議を削減し、時間効率を改善した
② 受託した業務の見積時間と実績の比率 ・ヒアリングシートの作成 ・オンライン会議の活用	・確実なヒアリングによる出戻りを防止した ・移動時間の大幅な削減

7. 実施体制(役割・責任・権限を含む)



	各自の役割、責任及び権限
代表者	1. 環境管理の責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直し・指示 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理の責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 代表者への環境経営システムの実施状況報告 3. EA21事務局の責任者として事務局運営 4. 従業員それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規などの取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・保管
EA21事務局	1. 環境管理の責任者の補佐 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 4. 環境経営活動の実績集計 5. 環境関連法規などの取りまとめ表に基づく遵守確認・評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門の環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価(実績には二酸化炭素排出量を含む)

環境経営計画	取組結果とその評価(22年9月～23年8月)		
	環境経営目標	取組結果	取組結果の評価
1. CO2排出量の削減	削減努力		主なCO2排出量である電力使用量を削減努力
①電力使用量の削減	節電	○	・順調に取組が進み、節電が進んだ
2. 廃棄物排出量の削減	45L 12袋	○	・順調に取組が進み、目標達成
3. 水使用量の削減	節水	○	・節水意識の維持ができた
4. 自らが提供する事業のサービスの改善			
① 時間あたり売上	3361円/時間	○	・出戻りを少なくすることで、目標達成
② 受託した業務の見積時間と実績の比率	100%	○	・順調に取組が進み、目標達成

○: 目標達成、×: 目標未達

9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営計画 2023年度	
1. CO2排出量の削減	電力使用量などの削減努力
①電力使用量の削減	・不要な時にはPCの電源をOFFにする ・夏季:28℃、冬季:21℃を目途とする ・月間2日間の定時退社を実行
2. 廃棄物排出量の削減 ・梱包材の持ち帰りを 徹底するように要請	徹底要請
3. 水使用量の削減 ・節水意識の維持に 努める	節水
4. 自らが提供する事業の サービスの改善	相模原市廃棄物の減量か、 再資源化及び適正処理等の推進に関する条例
① 時間あたり売上	3400円/時間
② 受託した業務の 見積時間と実績の比率	100%

10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

適用される主な環境関連法規などは次のとおりである。

適用環境関連法規等
廃棄物処理法

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

11. 代表者による全体評価と見直し・指示

(1) 全体評価

エコアクション21を取得後、12ヶ月の運用期間を経て目標の達成状況、計画の実施状況及び法規等の遵守状況を見る限り、十分とは言えないものの主要な環境活動は概ね実施できた。従って環境経営方針は変更しないが、活動テーマによっては改善の余地が残されており、今後社員が一丸となってシステムの充実と改善に取り組めます。

(2) 見直し・指示

(2)－1. 環境経営方針

今回策定し、活動を開始した環境経営活動の方針は、現在のままの形で変更しないこととする。

(2)－2. 環境経営目標、環境経営計画

- ①二酸化炭素の排出では、電力使用量は節電を達成できた。
- ②従来、廃棄物排出量を把握していなかったが、分別の徹底と定量把握ができたことから来年度の目標設定が可能となった。新たに排出量削減の目標を設定する。環境経営計画は変更しない。
- ③水使用は、トイレや手洗いのような生活用水の使用に限られているので現状より削減することは實際上難しいが、節水意識を忘れないようにして使用量が増加しないように努める。
- ④時間あたり売上は無駄な作業時間の削減とITツールの活用で改善する。
- ⑤受託した業務の見積時間と実績の比率は見積方法の改善に務める。

(2)－3. 実施体制

従来から業務執行のための構築されている組織体制を基本的に変更することなしに設けたEA21推進のための現行の体制を変更することなく維持する。